

# 令和元年度事業報告

## 1. 概要（理事長：窪田 茂）

理事長に就任して約2年が経ちました。

正会員も少し増え、賛助会員も増え、今年は遂に北陸支部の復活も目前となり、JCDが活発な印象になってまいりました。

しかし、新型ウィルスの影響で、思うように活動が行えないような事態になってきておりますが、事態が収束してくれば、より活発的な活動を取り戻していきたいと考えております。

さて、賀詞交歓会の時にもお話ししましたが、今年は「情報共有と情報発信」を大きなテーマとして活動をしていきたいと思っております。

JCDには9支部、今年から10支部と本部がありますが、それぞれの活動の内容を知る機会があまりにも少ない。それを補う為に、できる限りSNSなどでの発信をする機会を増やして頂きたい。また、それを本部FBなどでフォローしていく事で、少しでも情報共有をしていきたい。可能なら、役員会の時に、個別で報告会を開催する事ができれば、お互いにとって有用な情報を得る事ができそうです。また様々なイベント等の情報を発信する事で、JCDの活動が活発に見えてくれば、より一層のJCDの認知強化、新会員の獲得へとつながっていくと思っております。

## 2. 各事業の報告

### (1) 事業部（部長：永井資久）

（委員長会議議長：大滝道晴）

#### ①＜デザイン賞委員会＞

第二回、日本空間デザイン賞の集計部会のJCD側の部会リーダーとして定例会議出席。

#### ②＜Soda委員会＞

定例Soda会議出席。

出前授業（小松川小学校、浜田山小学校）講師として参加。

出前授業の学校等で「光」のレクチャーとして担当。

#### ③＜賛助委員会＞

定例賛助委員会出席

第14回「プロダクト オブ ザ イヤー」の実施（ポスター、ハガキ等の作成郵送）

投票率UPの検討や、新しくWeb投票システムの導入。

エントリー企業へのアプローチ。

#### ④事業部全体として

各委員会に次年度の組織の検討のため、現状の8つの各委員会の現状組織のメンバー等のアンケートを2年ぶりに永井事業部長、大滝委員会議議長名で実施いたしました。

(副委員長、書記、会計、コアメンバー等)

#### ① デザイン賞委員会 (委員長：笠原英里子)

第一回目となる「日本空間デザイン賞」は、初年度にもかかわらず合計1,100作品もの応募を頂くことができた。国内から996作品、海外から104作品にのぼっている。

賞のカテゴリーは11カテゴリーから成り、(Aグループ) 1. エキジビジョン、プロモーション空間 2. ショーウィンドウ&ビジュアルデザイン空間 3. エンターテインメント&クリエイティブ・アート空間 (Bグループ) 4. ショップ空間 5. 食空間 6. 大規模商業空間 (又は複合施設空間) 7. サービス・ホスピタリティー空間 (Cグループ) 8. 博物館・文化空間 9. 公共生活・コミュニケーション空間 10. オフィス空間 11. 住空間で構成されている。

応募期間締切り後、まず6月1日～8日までネットによる一次審査が行われた。一次審査員は各グループ30名計90名の審査員が担当し作品を選出。調整会議を経て入選となるLong List332作品が選ばれた。その後6月20日～27日までネットの二次審査が行われ34名の審査員で選出、同じく調整会議が行われShort List BEST100各ジャンル10作品ずつ計110作品が選ばれた。

8月3日よいよ最終審査となる三次審査がベルサール田町にて公開審査という形で行われた。審査員は柏木博氏、木田隆子氏、谷川じゅんじ氏、野老朝雄氏、豊口協氏、横河健氏、渡邊康太郎氏の7名、JCDから小坂竜氏、橋本夕紀夫氏、DSAから官波浪辰夫氏、山本尚美氏、そして両協会会長窪田茂氏、鈴木重千代氏が審査員長を務めた。この三次審査では各カテゴリーごとに金、銀、銅一作品ずつ決定された。まずはそれぞれの審査員が票を入れて集計された結果に基づき、全員で熱い議論を繰返しカテゴリーごとに各賞を決定していった。ファイナルとなるKUKAN OF THE YEARは非公開の討論とし、外部審査員7名のみエキサイティングな討論と投票によって決定された。

名誉ある第一回のKUKAN OF THE YEARは「広島平和記念資料館本館」が受賞。日本が表現する意味として最大の価値がある作品であるとして、ほぼ満票に近い票が集まり文句ない決定となった。

10月4日明治記念館において、贈賞式、大賞の発表、受賞パーティーが行われ、大変格式の高い贈賞式となった。

2020年2月4日～16日までGOOD DESIGN Marunouchiにおいて「日本空間デザイン賞2019展」が開催され、銅賞以上の掲示、大賞受賞者のトークイベント等が行われた。

日本で唯一かつ最大の空間アワードとなった第一回日本空間デザイン賞は、この社会のニーズと変化を反映して様々な空間の価値が見出され、評価された。まさにこのアワードに

最もふさわしい「多様化する社会での新しい価値の発掘」となったと言える。

②Soda 委員会（委員長：新藤 力）

- 1) 6/15(土)、建築会館ホールで開催された(一社)日本建築学会が主催する「2019 年度子ども教育支援建築会議全体会議・シンポジウム」において登壇し JCD・Soda 委員会の活動報告をいたしました。
- 2) 8/11(日)、“東京ミッドタウン・キッズウィーク 2019”において「夏休み!親子 de わくわくワークショップ」を開催。小学生親子(6~11 歳)16 組の親子が参加。キッズウィークでは募集と同時に満席となる人気のイベントになっています。8 歳の女の子の「おすすめ あいすやさん」には真っ赤な太陽とアイスの生る木。同じく 8 歳の男の子が“ただただ考えた”「うちゅうめいろ」。昨年に続いて参加してくれた 9 歳の女の子は「先生、来年も再来年もきます!!中学生になっても来ていいですか?」いいと思います。
- 3) 10/7(月)品川区立伊藤小学校で開催予定をしていた出前授業は、2 学期から担当教諭が長期休養に入り急遽中止になりました。
- 4) 10/25(金)、昨年度につづき 3 大名門公立小学校のひとつ、港区立白金小学校(6 年生 92 名対象)にて出前授業を開催。授業の最後に私たちへの質問コーナー、「デザインで大切にしていることは何ですか?」「デザイン料は?」など鋭い質問が飛び交いました。授業の感想では「自分では思いつかないみんなのアイデアを組み合わせると面白い作品ができた。」「最初はグループでもめて絶望したけれど、心を合わせていい作品になった。」と、普段ひとりで受験に立ち向かっている子どもたちが、協力・協働の成果を強調いたしました。
- 5) 11/3(日・祝)「GOOD DESIGN EXHIBITION2019」での屋台型ワークショップ、空間が飛び出す!?!「ポップアップカードを作ろう!~お店・お家~」は、今年度リエゾンセンターにて開催。就学前のお子さんのご家族・中学生のお姉ちゃんと妹・カップル・ご夫婦・女性お一人・・・様々な 23 組のみなさんにご参加いただきました。
- 6) 11/6(水)、九州支部と共同で大分県杵築市立八坂小学校(6 年生 21 名対象)にて出前授業を開催。昨年に続き杵築市の積極的な取り組みにより実現いたしました。畑の中の小さな学校で、子どもたちひとりひとりが大切に育てられていると感じました。制作中「意見が聞きたいんだけど、ここどうしたらいいと思う?」「それ、いいね!!」といったやり取りがたくさん聞こえてきます。お互いの意見を聞き、お互いを“承認”する心が育まれています。市長さんも参観、「すぐに実現したい案がいっぱいです。」とコメントをいただきました。当日はテレビ大分・ケーブル TV・大分合同新聞社の取材が入りました。
- 7) 11/16(土)、江戸川区立第五葛西小学校(4 年生 75 名・3 年生 81 名対象)にて初めてとなる 2 学年同時開催。先生の言葉を借りるなら“活きのいい”エネルギーにあふれる

子どもたちでした。

ゲスト講師に「コムデギャルソン」の河崎隆雄さんが参加。洋服屋さんのグループをサポートしていただきました。帰りぎわに「先生、マジ楽しかった!!」と子どもたちが玄関までお見送りにきてくれました。

- 8) 11/28(木)、北海道支部主催/札幌市立桑園小学校(6年生 175名)ワークショップに本部委員2名が応援参加いたしました。
- 9) 年が明けて1/21(火)、江戸川区小松川第二小学校(4年生 100名対象)にて出前授業を開催。こちらでは「ぼく・わたしの部屋」をテーマに1人1作品の制作をサポートいたしました。賛助会員さんにご提供いただいた素材に「うわ!!お宝がいっぱい!!」と本物の素材に夢中になります。中にはとてもアーティスティックな作品も!!
- 10) 1/29(水)、東北支部主催/青森市立大野小学校(6年生 97名)にて出前授業を開催。子どもたちの礼儀正しさがとても印象的でした。東北地方の子どもたちの作る作品はどれも密度があります。そして、果物に由来するものを売るお店・季節を売るお店・いろいろな時代のものをお店・ゾウさんのカフェ・・・発想も自由自在です。当日は青森放送・新聞社の取材が入りました。
- 11) 2/4(火)、沖縄支部主催/沖縄市立那覇小学校(6年生 73名対象)にて出前授業を開催。本部からSoda委員1名が応援参加いたしました。
- 12) 2/20(木)、今回で9回目となる定点校、杉並区立浜田山小学校(6年生 133名対象)での出前授業開催。例年現実生のある作品が多い学校ですが、ここ2~3年少しユニークな作品が目立ち始めてきました。H-II B ロケットで衛星や探査機を打ち上げるお店?・鬼(不老不死)になれるお店・回転ドーナツ・お堂・・・地域による感性の風土とともに時代による感性の推移を感じます。

北海道支部では桑園小学校での活動、関西支部では大阪住まい情報センターとのタイアップ事業、九州支部ではデザインスクールキャラバンの取り組みを継続的に実施されており、沖縄支部も支部発足当初から全島小学校開催を目標に活動を継続されています。JCDの社会貢献活動のひとつとして、全国での継続的な活動にご協力をよろしく願いいたします。

### ③シンポジウム委員会（委員長：水谷晶人）

#### ■SECTION61の開催

2019年11月15日（金）会場：五反田デザインセンターにおいて、SECTION61の開催を致しました。

61回目のSECTIONは、内田繁氏没後3年の今 「内田繁のデザインを考える」をテーマに…

飯島直樹理事、内田デザイン研究所 所長／長谷部匡氏、建築史・建築評論家／五十嵐太郎氏をお迎えして、日本のインテリアデザインのアーカイブとして氏のデザインを再考しました。

1. 飯島理事の視点→スーパーポテト／杉本貴志との関係性。
2. 長谷部 匡氏の視点↓
  - ①68年以後のデザイン(関係の先行性)/初期
  - ②アルド・ロッシとの協働の頃/中期
  - ③色と装飾への関心/後期
3. 五十嵐 太郎氏の視点→著作物から考える内田繁像。

昨年に引き続き長い時間を要したシンポジウムでしたが、三者三様の考察はとても興味深い内容でありました。この機会に内田繁が残したデザイン思考を改めて捉える機会を得たことはあらたな世代に「想い」を受け継ぎ…今後に繋がる素晴らしい講演会となりました。会場は、東京デザインセンター（五反田）のガレリアホールをお借りして、200名の方々が集まり大盛況となりました。昨年に続き、会場費無料、設備費有料でお借りする事ができた事と、賛助会員11社からの協賛を頂き黒字で開催ができました。また、動画アーカイブを残す事で当日参加出来なかった方々への試聴を可能としています。昨年にひきつづき協賛企業への報告書や礼状などを作成したり、シンポジウムの記事化を進めており、広報委員会と連動しながら、より効率的で影響力のあるシンポジウムへしていきたいと考えております。

#### ④広報委員会（委員長：飯島直樹）

JCD を外部に伝えることが主な活動であり、すでに定例となっている。以下の開催を行なった。広報は、協会からのメール発信、SNS を介した多量のリンケージ配信が主な手段である。

- 1) タカハシツキイチ（ジャーナリスト高橋正明氏が企画推進する月一回のトークイベント）ゲストは、09 松井亮（4/26）、10 中村圭佑（5/31）、11 鬼木考一郎（6/27）、12 二俣公一（7/24）、13 大西亮（8/29）、14 高須学（9/26）、15 玉上貴人（10/30）、16 袴田ひろき（11/27）、17 加藤匡毅（12/13）の諸氏により多彩な空間デザインが論議され、JCD のデザイン振興支援事業として継続している。ワイン片手のフレンドリーな会場は、JCD 事務局横のクラフテックギャラリーが共通会場。ゲストスピーカーの多くは、ツキイチがきっかけで JCD に加入している。
- 2) JCD シンポジウム SECTION 61「内田繁のデザインを考える」は、東京デザインセンター地下ガレリアホールで 11/15 日に開催した。登壇者は長谷部匡（内田デザイン研究所代表）、五十嵐太郎（東北大学大学院教授、建築史家）、飯島直樹（JCD 理事）。シンポジウムの模様は YOU Tube で配信中。また五十嵐氏が建築ジャーナル誌 2011/11 月号ほかでレビューを寄稿している。さらに今期の広報活動として以下があった。
- 3) EAST GATHERING で交流の深い香港インテリアデザイナーズ協会（HKIDA）からの招聘によるデザイン講演会「APIDA MASTERS TALK」（1/20）に JCD として飯島直樹が指名され

た。会場はデモ騒ぎが続くエリアの香港コンベンションセンター。飯島の講演テーマは1960=70年代の日本のインテリアデザインに沸き起こった「革命」についてであり、香港人にとっては「今まさに」のテーマとなったようだ。トークセッションの対談者で台湾の若手建築家 Johnny Chiu 氏とは、台北で開催した East Gathering 以来の再会だった。

- 4) 「日本空間デザイン賞 2019」の受賞作が一堂に会する展覧会を丸の内仲通りのギャラリー「GOOD DESIGN Marunouchi」で開催した。2020/2/4 - 2/16。アワード事業を業界の外、世間に浸透させる初めての試みとなった。会期中は KUKAN OF THE YEAR 受賞者、田中利岳、内海理美氏、銀賞受賞者の玉上貴人氏によるトークイベントも行われた。
- 5) JCD パンフレットの更新版を発行した。

#### ⑤国際委員会（委員長：武石正宣）

この年度の国際委員会の活動は、国際委員会発足してから初めての危機的状況を迎えました。一国二制度の衝突の煽りを受けて、香港デモの影響で、2019 香港 EG の中止。これはいずれ同じ問題を抱えている台湾はマカオにも波及して行くと考えられます。

またこの 2 月に JID と協賛で開催予定だった APSDA の大阪会議の関連イベントのコロナウィルスの世界的な流行に置ける中止。直前の中止によりチェアマン会議だけは開催され窪田理事長が出席いたしましたが、この翌週以降に開催予定であれば、チェアマン会議も中止になっていたと思われます。

この様な事が重なるのは珍しいと思われますが、ともかく記憶に残る一年でした。

#### ⑥賛助委員会（委員長：森川 一）

定例メンバーも増え活発な意見が出るようになってきており賛助委員会を見直す良い時期に来ております。

委員会として JCD Product of the year 以外でできる活動などをどのようにしていくかも議論しながらメインである JCD Product of the year も投票に関して進化させるなど小さいながら改革を進めた 1 年でした。

[JCD Product of the year 2020 の実施]

JCD Product of the year は、関西支部から提案がありました、「賛助企業がその年の一押しの商品を応募、正会員が投票し評価する」イベントです。昨年より新たな取り組みとして全賛助企業が参加できるプロダクトオブザイヤーを目指し、まずは自社の技術、仕組み等をアピールできる広告の頁を新設し、少ないながらも新しい JCD Product of the year の第一歩を進めることができました。

今回より正会員の投票に新しく WEB 投票という方法を取り入れて業務の効率化を図っております。

昨年も行いましたが 1 月に新年会を催し多くのメンバーと交流ができたと思います。

今年も「正会員と賛助会員のより良い関係を築く」をスローガンに新しいことへチャレンジしていきたいと思います。

⑦空間委員会（委員長：鹿目久美子）

1. JAPAN SHOP 2020 出展について

- ・2020年第26回JAPAN SHOPは皆様すでにご存知のように、新型コロナウイルス感染予防の為今年度は残念ながら中止となりました。
- ・開催間際であった為に、すでにかかっている費用等については今後の話し合いによって決められることとなります。

2. 年鑑刊行について

- ・『年鑑日本の空間デザイン2020』は、JCD+DSA「空間デザイン賞」合同アワードとして初めての年鑑刊行となりました。掲載についてDSA理事会から「空間デザイン賞」DSA+JCD：「サインデザイン賞」SDAの掲載バランスに異議が唱えられた。
- ・今後も価格改定などにより利益を出せる本となり、今後も発行の継続が決定された。（六耀社中川元代表）

⑧交流委員会（委員長：折原美紀）

交流委員会では、継続して社食堂にて軽食を楽しみながら20人限定イベントとしてJCD内外の女性を集め「女子会」を開催しています。

第5回おしゃべり会(7/4)のゲストは株式会社 anemosu 代表取締役 浅井裕子さん。テーマは「クリームとデザイン」と題して、食の専門出版社(株)柴田書店で長年編集に携わり、数々の取材や試食を通して培われた浅井さんならではの着眼点に皆さん興味津々でした。この会では賛助会員のイーストアジア株式会社様より携帯式のホイップクリームを差し入れていただき、テーマとリンクして楽しい食の体験もできました。

また第6回おしゃべり会を3月中旬実施に向けて計画をしておりましたが、昨今のコロナウイルス感染の可能性を鑑みて時期をずらすことを委員会内相談の上決定しました。

(2) 支部統括部（部長：小坂 竜）

(支部長会議議長（東日本）：長谷川 演)

北陸支部の立ち上げを進行させた。

多々ある問題に左右されず、まずは一步、設立することだけに視点を決め遂行し、形となった。

設立の総会を控え、更にメンバーを増やし増強させたい。

(支部長会議西日本担当議長 加藤博正)

令和元年の支部長会議のテーマは「支部アワード」の活用である。各西日本支部の意見をまとめると全国アワードとのギャップがずいぶんあるらしいが、それぞれ工夫した形で、支部会員を促し工夫を凝らしている。

九州支部は、学生アワードの検討、四国支部では、瀬戸内国際芸術祭 2019 県内連携事業をモダンデザインのあゆみとして、ノグチイサム、丹下健三らの紹介コーナーをいただき来場者をを募る。沖縄支部は日本建築家協会、建築士会、インテリアコーディネーター協会の協力のもとに「JCD OKUNAWA 空間デザイン賞 2019」を開催する、JCD からは、窪田理事長、小坂副理事長、笠原デザイン長委員長が参加し、87 作品が集まる。中国支部では、「広島デザインフェスティバル」において気軽に応募できる環境を作る。九州支部では、学生対象のアワードなどの研究など、各支部が工夫を凝らしています。

#### ① 北海道支部（支部長：高橋 恵）

令和元年度の事業方針

「デザインにおける社会貢献を軸に、参加してもらえる活動・仲間づくり」

運営会議

【概要】正会員同士の交流と北海道支部の活動について議論を行う。

【日程】基本 隔月 第一水曜日に開催しました。

北海道支部総会

【概要】平成 30 年度活動及び収支報告、平成 31 年度活動計画、予算（案）承認など

【日程】平成 30 年 5 月 9 日 センチュリーロイヤルホテルにて

運営会議+支部交流会

【日程】8 月 1 日

運営会議と交流を目的に大通公園のピアガーデンにて運営会議を行いました。

主に来年の総会の打合せとデザインキャンプの内容を打合せしました。

デザインキャンプ。

【日程】8 月 31 日 9 月 1 日

来年の総会の場所や懇親会の場所ホテル等を視察し、その後コンドミニアムにて宿泊し交流を深めました。

運営会議

【日程】10 月 1 日

総会と SODA の打合せを行いました。

SODA

【日程】11 月 20 日（導入）、11 月 28 日（模型製作）12 月 19 日（プレゼン）

Soda 桑園小学校 175 人 5 クラス 20 グループ

JCD 会員 6 名 賛助会員 2 名 ボランティア 3 名 本部より応援 2 名

今年の模型は、完成度が高くプレゼンテーションも立派に行っていました。

北海道支部の人数が少なく本部より村上さん根井さんが応援に駆けつけて頂き大変助かりました。

クリスマスパーティー

【日程】12月18日 椿サロンにて

毎年 JCD と北海道インテリアプランナー協会、北海道インテリアコーディネーター協会、北海道デザイン協議会 4 団体合同で行い、約 50 名の参加となりました。

ドレスコードが上半身白と華やかなパーティーとなりました。

### 3 団体合同のパネル展

【日程】2月1日,2日

大通りビッセ2階にて SDA, DSA, JCD 合同のパネル展を開催しました。

東北支部さんで作成したパネルを譲り受け、去年は時期が悪く開催できなかった合同でのパネル展を開催出来、少しですが地域へ JCD の活動を紹介できたと思っております。

## ② 東北支部（支部長：大塚真司）

【今年度の方針・目標】

- ・遠方（青森・秋田・岩手地区）との積極的な交流と支部事業へ積極的に参加できる仕組みづくり
- ・若手デザイナー発掘と JCD 入会勧誘
- ・他団体との交流と「空間デザイン賞 2019 東北支部展示会」の実施

【業務報告】

### ●東北支部役員・地区長会議

【日程】4月24日 【場所】アルコア事務所 【参加人数】8名

【概要】前年度の事業報告及び収支報告。今年度活動計画及び予算作成

### ●空間デザイン賞 2019 東北支部展示会打合せ

【日程】5月30日 【場所】アルコア事務所 【参加人数】4名

【概要】DSA・SDA との初打合せ。過去の開催概要など確認。

### ●東北支部春のゴルフコンペ及び懇親会

【日程】6月22日 【場所】仙台市内 【参加人数】13名

【概要】各地区より広く参加。男女合わせて13名。前日には正会員、賛助会員の懇親会も行いました。

### ●東北支部定時総会・デザイン勉強会

【日程】7月4日 【場所】仙台市内 【参加人数】31名

【概要】支部総会を仙台で開催致しました。総会終了後は大塚支部長に依る「デザイン勉強会」を実施し勉強会へは35名集まりました。

### ●空間デザイン賞 2019 東北支部展示会打合せ

【日程】7月12日 【場所】アルコア事務所 【参加人数】4名

【概要】DSA・SDA との打合せ。開催場所、日程の検討。合同セミナー概要検討

### ●JCD・DSA・SDA 東北地区連携活動合同セミナー&ビアパーティー

【日程】8月28日 【場所】仙台市内 【参加人数】JCD 37名・DSA 18名・

SDA 6名

【概要】空間デザイン賞 2019 東北支部展示会へ向け、各団体の趣旨、活動状況などを説明し、各団体の懇親を目的に開催致しました。総勢61名にてセミナーと懇親会を実施しました。

●DSA 酒井氏のセミナー参加

【日程】9月25日 【場所】仙台市内

【概要】DSA 北海道・東北理事酒井氏のセミナー「ニューヨーク視察報告会」へ参加致しました。JCD 正会員・賛助会員も多数セミナーへ参加。

●Soda 青森打合せ

【日程】9月30日 【場所】青森市内 【参加人数】3名

【概要】青森地区正会員福士氏を通し、丸野市議会議員を紹介頂き、JCD Soda 活動の趣旨説明を行い教育長、小学校へ打診を依頼

●東北支部秋のゴルフコンペ及び懇親会

【日程】10月5日 【場所】仙台市内 【参加人数】15名

【概要】各地区より広く参加致しました。前日にはゴルフ参加者以外の正会員、賛助会員も集まり懇親会も開催致しました。

●空間デザイン賞 2019 東北支部展示会打合せ

【日程】10月9日・24日 【場所】アルコア事務所 【参加人数】4名

【概要】具体的な会場レイアウト・展示作品数などの決定

●Soda 小学校打合せ

【日程】10月17日 【場所】青森市立大野小学校 【参加人数】2名

【概要】青森地区正会員福士氏、大塚支部長に依り大野小学校へ Soda の説明、開催日等打合せを行い令和2年1月29日に決定。

●空間デザイン賞 2019 東北支部展示会開催 【来場者延べ300名】

【日程】11月15日～20日 【場所】東北工業大学一番町ロビー

【概要】「空間デザイン賞」及び「サインデザイン賞」の受賞作品を展示。JCD・DSA・SDA 3団体に依る共同開催を実行。初日15日には3団体合同懇親会を実施

●東北支部新年会・青森地区 Soda 説明会

【日程】1月15日 【場所】青森市内 【参加人数】11名

【概要】青森市内にて初参加の青森参加者への説明会を実施

●Soda ワークショップ開催

【日程】1月29日 【場所】青森市立大野小学校 【参加人数】講師32名

【概要】6年生97名を対象に青森で初開催。初講師が多い中、無事終了いたしました。

③ 関東支部（支部長：小田秀樹）

**\*今期は各委員会活動へ正会員・賛助会員の参加を促進する。**

（新藤力副支部長、品川正之副支部長）

■研究セミナー委員会：福田裕治委員長、石橋美幸副委員長、下村牧子副委員長

- 1) とくトーク 6月7日「JCDとDESIGN」ゲスト：飯島直樹

会場：オカムラ Vispiay ショールーム

- 2) とくトーク 8月23日「ビールに味を！人生に幸せを！」ゲスト：稲垣 聡

会場：東京デザインセンター5階 クラフテックギャラリー

- 3) とくトーク&鍋塾 11月23日「想像を表現する力の重要性について

ゲスト：水谷壮市 会場：ホロン環境計画サロン

- 4) 3月開催予定をコロナウイルスにより延期

■支部賛助委員会：品川正之委員長、奥弘史副委員長、原康喜副委員長、藤原巧副委員長  
本間克典副委員長

- 1) ほぼ月1回（4/19, 5/14, 6/11, 7/16, 9/10, 10/4, 11/12, 12/10, 1/15, 2/18, 3/10）の定例委開催して JCD 正会員・賛助会員相互の向上のための意見交換を行った。

- 2) 賛助会員企業のショールーム見学を 7月30日ユニオンさんのショールームにて Soda 委員会と共催で行い、11月23日にとくトークと共催で賛助企業紹介を盛り込んだ鍋塾を開催した。ショールーム見学の名称を関東支部の「ノレンカイ」（賛助企業の暖簾をくぐる意味）と命名した。

- 3) 関東支部賛助委員会として賛助企業のパンフレットを作成し全国賛助企業、関東支部賛助企業及び関東支部正会員に配付した。

- 4) 賛助会員相互の親睦のため、8月30日（金）に熱海海上花火見物会を、10月26日（土）江東区豊洲の WILDMAGIC The Rainbow Farm において BBQ イベントを企画

- 5) 広報委員会と連携して、関東支部機関紙に賛助会員企業の紹介記事を掲載した。

- 6) 全国賛助委員会にオブザーバーとして賛助委員長及び賛助会員数名が参加協力した。

- 7) Soda 委員会の出前授業等の活動に参加協力した。

■広報委員会：古川紳太委員長、大滝道晴副委員長

- 1) 今期は3刊発行して各回 20 ページ立ての900部発行

- 2) 一回目（7月末発行）総会特集・とくトーク・プロダクトアワード・SODA 委員会報告・新人会員紹介など

- 3) 二回目 夏／秋号（12月中発行）とくトーク・会員の近況・クラブ活動報告・新人会員紹介・夏のパーティー報告・SODA 委員会報告・賛助会員活動報告・新人会員紹介・準会員募集の広告

- 4) 三回目 冬／春号（3月中発行）・とくトーク・会員の近況・新人会員紹介・SODA 委員会報告・新人会員・準会員紹介・賛助会員広告枠

■メディア委員会：水谷晶人委員長、中村茂雄副委員

- 1) 新規正会員・賛助会員情報のホームページ掲載更新を迅速に行った。
- 2) 正会員・個々のHPを関東支部ホームページへ掲載して掲載数を増やした。
- 3) 事務局からのメールとリンクして「JCD関東支部 Face bookページ」にて関東支部トクトークを始め夏冬のパーティーのイベントを立ち上げ積極的に行い参加を促す仕組みの定着を計った。
- 4) 「JCD本部 Face bookページ」と「JCD関東支部 Face bookページ」とのリンクをより強化した。
- 5) イベント等終了のまとめ報告をFacebookページに行う事で活動内容及び情報のアーカイブとしての機能を持てるようになった。

■交流委員会：折原美紀委員長、雲野一鮮副委員長、村上敦副委員長

- 1) 夏のパーティーを8月6日パセラリゾートグランデにて第一部はゲストを迎えてのトークショー、第二部は会員によるライブを開催した。第一部は、新藤力理事と日本で唯一現存のだるま窯で手焼きの瓦職人、五十嵐清氏と数々の受賞歴のある組子職人の横田栄一氏。家所会員と折原がナビゲーターをしてマイスターの手仕事の数々に新たな知識を得る機会となった。第二部は、前回同様、田中由紀会員率いる高島屋のハウスバンド「BNST」の演奏で大変盛り上がった。

会員・同伴：108名・30歳以下：17名・ブース：2社・総人数：125名  
収支+12.6万円

- 2) 「冬のパーティー」を2月25日パセラリゾートグランデにて第一部は漆職人の斎藤寛親氏、橋本夕紀夫氏を迎えてのトークショー、第二部は正会員バンド「BNST」と{JCDバンド}によるライブを予定していたが、直前で新型コロナウイルス感染の危険性を考慮し、話し合いの結果中止を決定した。

■特別委員会：星明臣委員長

- 1) 令和元年度の支部研修旅行は、当初9月に「香港」を計画しましたが、反政府・反中国運動の激化の煽りをうけ east gathering が無期延期。改めて、「シンガポール」に変更。会員9名の参加をへて2月に催行。最先端建築・造形物の視察や IDCS との交流会などを計画しております。(詳細はJCD Kanto 最新号にレポートが掲載予定) 今度は新型コロナウイルス、行く先々でまたも中国に振り回されています。

④ 中部支部（支部長：鳥居佳則）

- 4月23日 支部会議 定時総会準備
- 5月6日 関西支部合同ケイミュー滋賀工場見学会開催
- 5月18日 支部会議（鳥居・不破） 定時総会準備
- 5月25日 定時総会開催 80名参加
- 6月26日 支部会議 ・支部総会準備

- 7月31日 支部総会開催 45名参加
- 9月6日 支部会議
- 10月4日 日本の空間デザイン賞 贈賞式 パーティー参加
- 10月11日 支部会議
  - ・デザイントリプレックス 16 準備
  - ・若手デザイナーによるシンポジウム計画
- 11月16日 理事会参加
- 11月22日 支部会議
  - ・忘年会について
  - 「内田繁のデザインを考える」に参加
- 12月16日 忘年会開催 45名参加
- 1月21日 支部会議
- 2月15日 北陸デザインフォーラムに参加
- 2月20日 デザイントリプレックス 16 開催
- 3月3日 支部会議
  - ・若手デザイナーによるシンポジウムについて
- 3月14日 理事会（中止）
- 3月16日 IOC DISCO NIGHT 開催予定

⑤ 関西支部（支部長：中村俊輔）

例年の活動の質的向上を計り、大阪デザイン団体連合・大阪デザインセンターとの連携により新たなくくりによりデザイン発信を行います。

2月～大阪万博に向けての協議

大阪デザイン団体連合 USD-0 を中心とした大阪万博への取り組み

5月13日 大阪デザインセンター主催「デザインカンファレンス」の協議

2020 年秋、大阪デザインセンター開催の「デザインカンファレンス」開催に向けての企画提案 インバウンド観光をテーマにした協議

6月10日 支部集会（賛助会員 PR 会・懇親会）

屋敷「あまべ」にて開催。61名の参加。

7月28日 SODA 事業 住まい情報センター タイアップ事業+

「こどもたちと創る商店街」

模型ワークショップ+商店街見学。48名(小学生22名)の参加。

9月4日 秋のワインパーティ開催（賛助会員 PR 会・懇親会）

「私もクリエイターやで」「女子力ってなんなん？」 銭屋カフェにて開催。

53名の参加。 ※新企画のぶっちゃけトーク。

- 11月2日 関西学生シンポジウムの開催  
「多様性のデザインと新しい時代のユニバーサルデザイン」  
大阪デザインセンターにて開催。  
4団体共催(JCD/JID/JIDA/KIPA) 6大学の参加。JCDは大阪モード学園にて。  
・9月4日 賛助委員会開催  
・月一回、第一水曜日 合同委員会開催(スペース、アネックス棟にて)  
・USD-0理事会の参加 ・SENBAサロンの後援
- 11月22日 大阪市商店会総連盟主催  
「第10回大阪市あきないグランプリ表彰式」  
大阪産業創造館 ※JCD賞の表彰
- 12月11日 クリスマスイベント  
トークイベント「デザインの先に」&賛助会員商品PR会&ライブ(JCD West Band)  
※デザインと経営・運営を探る
- 2月22日 APSDA理事会の大阪開催のサポート  
※理事7名の来日

その他 修成建設専門学校 育課程編成委員会(卒計審査)への参加

#### ⑥ 中国支部(支部長:深田勝哉)

令和1年度の中国支部活動方針は「正会員の交流と若手会員の増強」をテーマに、支部創りを目指してまいりました。前年度同様に、デザイナーと地域との交流の場創り、デザイン会議、デザインセミナー、デザインアワード、デザイン研修など様々な活動を通して、支部に関わるデザイナーにとって活躍しやすい支部として1年を終えることが出来ました。

令和1年度事業内容

- 組織改革・・・若手会員の増強、若手正会員が中心となれる組織作り。
- 例会活動
  - 4月20日 31年度支部総会 前年度事業報告・今年度事業計画・新組織発表  
ミニセミナー(岡山) サカイ様によるデザインアワードレポート
  - 5月25日 31年度定時総会 へ2名の参加(中部支部)
  - 6月14日 第2回JCD中国支部例会:福山市民交流館にて開催  
※ミニセミナー: BTS様によるステンドグラスの世界
  - 8月23日 第3回JCD中国支部例会&ビアパーティー:ラヴィングコア広島にて開催  
※ミニセミナー: スミエ様によるホテル・店舗の床材の提案
  - 10月25日 第4回JCD中国支部例会:岡山駅前グローブにて開催  
※ミニセミナー: ビートソニック様によるLED照明

- 11月23・24日 広島デザインデイズ 2019：イノベーションハブ広島にて開催  
※JCD 支部アワード・窪田理事長によるセミナー・学生作品コンペ
- 12月6日 第5回中国支部例会 & 大忘年会（福山）：福山駅前一楽にて開催  
※正会員、賛助会員 20名参加
- 3月21日 第6回中国支部例会 & デザイン交流会・鍋塾（岡山）

●地域活動として11月23・24日に広島デザインデイズ 2019を開催

支部事業である、「広島デザインデイズ」は地元との交流、広島・岡山を中心とするデザイン団体、建築・デザイン系の大学・専門学校などと、デザインを中心とした地元根付いた交流の場活として盛り上がった会となりました。

※支部アワード（中国5県を募集対象とした店舗・住宅・建築などの作品）

※セミナー（JCD窪田理事長を招き「デザインの未来」について）

※学生コンペ（建築系の専門学校、大学の課題を集めたデザインコンペ）

- 7月 広島デザインデイズ 2019 第一回準備委員会（広島）
- 8月 広島デザインデイズ 2019 第二回準備委員会（広島）
- 9月 広島デザインデイズ 2019 第三回準備委員会（広島）
- 10月 広島デザインデイズ 2019 第四回準備委員会（広島）
- 11月 広島デザインデイズ 2019 開催（広島）

⑦ 四国支部（支部長：長尾勝彦）

第4回 SHIKOKU デザインフュージョンが無事開催できたこと、財団法人川島猛アートファクトリー特別公開準備膨大なアート作品に触れたこと、名古屋総会が無事開催されたこと、LIXIL, TOTO 賛助企業のセミナーに参加でき、瀬戸内国際芸術祭連携事業 高松歴史資料館第77回企画展「心を豊かにするデザイン」讃岐モダンへのあゆみ、初代支部長 碓井登、2代目寒川登 「二人の登」四国のデザインの歩み、格闘をご紹介できたことは四国支部としての歴史を垣間見ることができる内容だったと思います。

- 4月、第4回 SHIKOKU デザインフュージョン開催
- 5月、名古屋総会開催
- 6月、ミケイラランチ会議
- 8月、LIXIL, トップ照明デザイナーに学ぶセミナー
- 9月、CERA/TOTO デザインセミナー
- 9月14～11月4、心を豊かにするデザイン開催
- 11月、川島猛アートファクトリー特別公開アトリエ
- 11月、支部長会義、令和元年度第2回定時理事会
- 12月、四国支部忘年会
- 1月、賀詞交歓会参加
- 1月、穴吹デザインカレッジ「デザイン展20」後援
- 2月、ミケイラランチ会議開催

3月、支部例会開催

3月、臨時理事会

4月、第5回 SHIKOKU デザインフュージョン開催

⑧ 九州支部（支部長：原田啓二）

(1) 業務委員会

○月例会の開催（毎月第三金曜日/大光電機会議室）

毎月開催の月例会ですが、例年通り賛助会員にも参加いただき、運営会議の冒頭に商品 PR や企業セミナーなどを行いました。例会終了後には飲食店に移動しての懇親会を行ない、コミュニケーションを積極的にとりました。

○SODA 活動の開催（12月/大分県杵築市立八坂小学校6年生）

昨年から2回目となる杵築市立の小学校にて SODA 授業を行いました。本部から新藤理事他2名と九州支部より4名、地元デザイナー1名参加し、1泊2日のスケジュールにて児童21名5グループに向けて授業を行いました。昨年同様に思うことは、大分県杵築市という海と山に恵まれた牧歌的な環境の中で生まれた児童たちは、エネルギーで郷土愛に満ちた子供達が多く、今後の杵築市の新たな発展に大きく期待するものでした。

○FUKUOKA デザインリーグ運営会議の参加

FUKUOKA デザインリーグの団体会員として運営会議に参加し、これからの取り組みや今後のあり方などについて意見交換をしました。リーグも法人化をして12年となり、JCD との今後の関わり方など支部内で検討中です。

(2) 交流委員会

○ビアパーティの開催（7月/アゴーラ福岡山の上ホテルビアガーデン）

7月の月例会は賛助会員とビアパーティを行い、沢山の参加をいただきました。「ビールとJCDはやっぱり最強コンビ！」をテーマに、楽しい暑気払いとなりました。

○各種セミナー参加

賛助会員の各種イベントやセミナーに参加しました。

アダルトトレンドセミナー・サンワカンパニーサローネ報告会・平田タイル製品発表会・サンゲツ新作セミナー・オリバー企画セミナー・DAIKO セミナー・ビートソニック展示会等々

○忘年会・新年会の開催

忘年会と新年会は正会員と賛助会員に沢山の参加いただき、盛大に盛り上がりました。会員間のコミュニケーションも深まり、情報共有とモチベーションを上げる大変良い宴となりました。

(3) 広報委員会

○支部ホームページや Facebook・Instagram を運営しています。ホームページは新し



- 11月 ◇JCD OKINAWA 空間デザイン賞 2019 贈賞式・ミニトークを開催しました。参加者は ≒70名。
- 12月 ◇支部定例会の開催  
◇JCD 沖縄支部 忘年会(モノズクリガンバッタ 2019) の開催。  
建築・インテリア・グラフィックというカテゴリーを設け、≒100名の方々と1年を振り返る、異業種コミュニティの場として定着しております。
- 2月 ◇支部定例会の開催  
各委員会活動報告  
◇那覇小学校6年生、69名を対象に12グループに分かれ、「ドリームショップを作ろう!」というテーマにて開催。本部から1名、インテリアコーディネーター協会、インテリア産業協会からも講師として参加頂き、無事終了しました。
- 3月 ◇定例理事会

#### 総 評

今年度 初開催となった「JCD OKINAWA 空間デザイン賞 2019」

6月にデザイン賞委員会を立ち上げ、商空間・住空間・プロダクトというカテゴリーにてアワード(11月贈賞式)を開催しました。

団体の枠を超え 沢山の応募が頂けるよう 建築家協会沖縄支部、沖縄県建築士会、沖縄県インテリアコーディネーター協会3団体からも審査員に加わって頂き 本部からは、窪田理事長、小坂副理事長、笠原デザイン賞委員長、橋本会員、計7名の方に審査して

頂きました。準備期間も無い中、積極的な広報活動を行い、住空間 37点、商空間 44点、プロダクト6点、計87作品の応募があり目標数を達成する事ができました。

31年度、SODA ワークショップについては、1校の開催となりました。

引続き、年2校開催を目標に取り組んでいきたいと思えます。

交流・イベント事業としては、企画力の向上と共に一定数の参加を頂けるようになってきており、正・賛助会員入会きっかけと なっております。JCDの活動を通して 認知度を高め、来年度も引続き、正会員入会に繋がるような活動にしていければと思えます。

### (3) 総務部 (部長:太細 通)

#### ① 財務委員会 (委員長:太細 通)

今年度の事業活動収入合計は、昨年度に比べ会費収入では正会員が約23万円、約1.5%の増収、賛助会員は全国、支部とも増収で約109万円、約8%の増収、合わせて約132万円、約4.6%の増収となりました。また事業収入は、設計事業奨励事業のDSAと統合しま

した 1 回目の日本空間デザイン賞の応募料が、応募料金を大幅にアップしたにも関わらず応募数は若干の減少済み、約 2 倍の 620 万円増、また本部、関東支部、関西支部の広報機関誌の広告料が約 3 倍強の 157 万円増、国際交流事業として中国、香港のデザイナー来日の際のセミナー開催への謝礼として 57 万円の収益がありました。一方講習会収入は 96 万円減、研究会収入が 93 万円減となりました。結果、減収より増収が大幅にうまわったため、事業活動収入合計では昨年度決算額より 801 万円増、予算に対しても約 390 万円増の 2,466 万円になりました。結果、雑収入の 17 万円増を加え事業活動収入計は昨年度より約 950 万円増、予算に対しても 454 万円増の 5,530 万円となりました。

事業活動支出合計は、昨年度に比べ事業費支出では、設計奨励費が DSA と統合した日本空間デザイン賞の初回の開催ということもあり大幅な 432 万円増、展示会費は各所で開催され 57 万円増、事業通信費が HP の更新等で 48 万円増、広報費が本部、関東、関西の広報誌発行で 39 万円増。一方セミナー育成費はワークショップがひと段落し 68 万円減、研究会費が約 65 万円減でありこの活動減は反省すべき点です。これらにより事業費支出は昨年度より約 504 万円という大幅な増になりました。また管理費支出では、特に増額になった項目はなく、前年度に消費税 5 年分をまとめて納入を行ったため租税公課が約 95 万円減、会議費がコロナ禍による自粛要請で理事会が 1 回中止になったこともあり約 46 万円減。管理費支出合計で約 135 万円減になりました。結果事業活動支出合計では昨年度決算額より約 370 万円の増、予算に対しては約 124 万円減の約 4,430 万円となりました。

以上より、収支差額は前年度決算額及び予算額より約 580 万円増となり約 1,100 万円もの大幅な黒字を確保できました。

本部及び 9 支部を個別にみますと、本部と 7 支部は黒字を確保できました。四国支部が前年度分の支部賛助会費の本部への払戻があったため約 13 万円の赤字、沖縄支部が soda ワークショップ材料費等の支出があったため約 7 万円の赤字でしたが、いずれも繰越収支差額で十分カバーできています。次期繰越収支差額が当期事業活動支出計の 50%に満たないのは関西支部が 33%、中部支部が 42%なので、累損にならないためにも今期も厳しい予算管理が必要となります。

一般社団法人への移行 7 年度目になりますが、全体的に非常に良い結果となりました。

## ② 功労者選考委員会（委員長：星 明臣）

各支部長等より、功労賞候補会員の推薦を受け、メール等で委員間の意見交換・検討を重ね、以下の候補会員を理事会に推挙いたします。

- 1) JCD 特別功労賞 該当者なし。
- 2) 支部功労賞候補者として、以下の 3 支部から 3 名の会員の推薦があり、委員会は承認。
  - ① 東北支部 須田 喜久男 会員
  - ② 中国支部 西原 勝 会員

③ 九州支部 石塚 泰造 会員

※中国支部、西原 勝会員は、支部長を辞任された平成24年度に、特別功労賞を受賞されていますが、今回は支部会員活動に対する表彰との事で、支部長の推薦を受理しました。

- 3) 名誉会員として、四国支部 井上 秀美会員を委員会は承認。
- 4) 評議員として、現評議員13名（井上評議員は今年度末正会員を退会）の再任を委員会は承認。
- 5) 顧問、参与 新規・再任の推挙はなし。

建設事業関係功労者表彰（「国交省大臣表彰」と略）

昨年度は、小田 秀樹会員（関東支部長）が大臣表彰の栄に浴しました。

令和2年度は、深田 勝哉会員（中国支部長）を推挙・申請しております。

「国交省大臣表彰」については、候補者申請を継続していきます。

### 3. その他会務に関する事項

(1) 会務などの状況

総会（1回）

令和元年度定時総会

期日：令和元年5月25日 会場：まるは食堂旅館 会議室

社員出席：237（内委任状29、議決権行使164）名

理事会（2回）

第1回定例理事会 期日：令和元年5月25日 会場：まるは食堂旅館 会議室

出席理事：22名

第2回定例理事会 期日：令和元年11月16日 会場：東京デザインセンター8F

出席理事：22名

(2) 関係団体や機関との交流、事業への協賛など

空間デザイン機構（(公社)日本サインデザイン協会、(一社)日本空間デザイン協会、(一社)日本ディスプレイ業団体連合会と共同）において、活動に担当を派遣した。また、日本インテリアデザイナー協会「World Interiors Week 2019 in Japan」、商業施設技術団体連合会「第17回主張する「みせ」学生デザインコンペ」、NPOユニバーサルイベント協会「ユニバーサルキャンプ in 八丈島」、カフェレスジャパン「CAFERES JAPAN 2020」、ビジネスガイド社「第88回東京インターナショナル・ギフト・ショー春2019」、関西インテリアプランナー協会「KIPA 第3回デザインコンペティション2019」、日本能率協会「s-DESIGN/店舗・商業空間デザイン展」等への後援や、日本ショッピングセンター協会「第44回日本ショッピングセンター全国大会」、同協会「s-DESIGN/店舗・商業空間デザイン展」、メッセフランクフルト ジャパン「インテリア ライフスタイル

2020」、日本能率協会「第48回国際ホテル・レストランショー」等への協賛を行った。

#### 4. 会員の移動状況

	平成30年度期末	年度内増	年度内減	令和元年度期末
正会員	421名	50名	32名	439名
賛助会員	189社	26社	15社	200社
名誉会員	8名	0名	1名	7名

#### 5. 正会員の資格喪失に関する事項

定款第9条（資格の喪失）による、本年度の正会員資格喪失者は次の32名である。

・退会申し出による者 23名

（東北支部） 阿部憲一、千葉義人

（関東支部） 板橋智美、稲森康治郎、植木美央、榎本太郎、江原まゆみ、大河原彌生、  
佐々木里実、高畑秀幸、徳倉 宏、武藤豊彦

（中部支部） 平井 充

（関西支部） 藤原誠人

（中国支部） 畑山成美、脇本純治

（四国支部） 井上秀美

（九州支部） 荒井マモル、白石 隆、浜崎誠太郎、御厨大輔

（沖縄支部） 大湾美佳、柳沢正木

・死亡による者 3名

（関東支部） 岩倉榮利

（関東支部） 橋本健二

（関東支部） 仲上宗男

・会費未納による者 6名

（関東支部） 太田ヒロユキ、佐藤香一郎、関根伸明

（関西支部） 河内久美子

（九州支部） 田中大輔

（沖縄支部） 仲北正明